

# 精神疾患専門委員会

(令和4年度)

## 精神疾患専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長 岡本 泰昌

### I. はじめに

厚生労働省において令和4年6月にとりまとめられた「地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制の実現に向けた検討会報告書」では、精神疾患の現状について、「近年、精神疾患を有する患者の数は増加傾向にあり、平成29年には約420万人となっている。」「自殺者数は、平成22年以降は10年連続で減少となっていたが、令和2年には11年ぶりに増加に転じている。」とされており、本委員会では、このような動向を踏まえ、第8次広島県保健医療計画（精神疾患対策）策定に向け、課題を検討・協議した。

また、令和3年度の本委員会において、依存症（アルコール、薬物、ギャンブル等）に関する診療と相談の現状と課題について協議した際、特に、ギャンブル等依存症に関しては、相談拠点（県立総合精神保健福祉センター）への相談件数が増加傾向にあるが、受診につながっていない可能性があるため、依存症診療に係る現状や課題を把握するための調査等を行う依存症ワーキンググループを設置することとし、令和4年度に具体的な検討を行った。これらの協議結果を報告する。

### II. 協議の概要

#### 1 開催状況

令和4年度は、精神疾患専門委員会を2回、精神疾患専門委員会依存症ワーキンググループ会議を3回開催した。このうち、専門委員会の開催状況は次のとおりである。

日にち等	協議内容
第1回 精神疾患専門委員会 (令和4年10月14日)	・第8次保健医療計画（精神疾患対策）策定に向けた検討課題等について ・依存症WGの検討状況について ・第3次広島県自殺対策推進計画について
第2回 精神疾患専門委員会 (令和5年3月31日)	・依存症WGの検討結果について ・来年度の委員会における検討事項等について ・第3次広島県自殺対策推進計画について ・広島県依存症対策推進計画の策定について

#### 2 検討内容

##### (1) 第1回精神疾患専門委員会

最初に、「第8次保健医療計画（精神疾患対策）の策定に向けた国の動向」、「治療抵抗性統合失調症治療薬の使用状況」を確認し、計画策定に向けた検討課題等について協議した。

次に、依存症ワーキンググループにおける「依存症アンケート調査」の検討状況に係る報告を受けてその実施内容等を確認するとともに、令和5年度からの第3次広島県自殺対策推進計画の策定状況を確認し、計画の骨子案をもとに、取組の方向性を検討・協議した。

##### (2) 第2回精神疾患専門委員会

依存症診療については、令和4年12月22日に開催された第3回依存症ワーキンググループで検討が行われたことについて報告を受け、課題のまとめと今後の対応を検討・協議した。

また、次年度の精神疾患専門委員会における検討事項を決定した。

### III. 検討結果等

#### 1 統合失調症ワーキンググループの設置

第8次保健医療計画（精神疾患対策）の策定における現状把握の指標例のうち、統合失調症について

# 治療抵抗性統合失調症治療薬の使用に関する広島県の現状

クロザリル適正使用委員会（CPMS）ホームページより

## 都道府県別CPMS登録医療機関

CPMS登録601医療機関 患者登録済み540医療機関 登録患者数14818人（全国）  
（CPMS登録抹消医療機関を除くデータとなります。）

2022年09月01日時点  
※都道府県全体での患者登録数

**【広島県】**

登録医療機関  
13医療機関

うち患者登録済  
12医療機関

患者登録数  
321人

都道府県名	CPMS登録医療機関数 (うち患者登録済医療機関)	患者登録数 (人)※	都道府県名	CPMS登録医療機関数 (うち患者登録済医療機関)	患者登録数 (人)※	都道府県名	CPMS登録医療機関数 (うち患者登録済医療機関)	患者登録数 (人)※
<b>北海道・東北 93 (78)</b>			<b>中部 101 (93)</b>			<b>中国・四国 78 (70)</b>		
北海道	44 (36)	482	新潟県	10 (9)	228	鳥取県	4 (4)	51
青森県	8 (6)	184	富山県	6 (6)	108	島根県	8 (7)	102
岩手県	6 (5)	261	石川県	13 (11)	342	岡山県	12 (11)	716
宮城県	8 (8)	129	福井県	4 (4)	110	広島県	13 (12)	321
秋田県	9 (9)	180	山梨県	6 (5)	230	山口県	6 (6)	119
山形県	9 (6)	163	長野県	12 (12)	192	徳島県	7 (7)	103
福島県	9 (8)	230	岐阜県	10 (8)	221	香川県	9 (7)	162
<b>関東 132 (119)</b>			静岡県	9 (9)	274	愛媛県	10 (9)	124
茨城県	9 (9)	228	愛知県	31 (29)	870	高知県	9 (7)	103
栃木県	10 (10)	224	<b>関西 83 (77)</b>			<b>九州・沖縄 114 (103)</b>		
群馬県	9 (6)	127	三重県	9 (7)	249	福岡県	29 (27)	769
埼玉県	10 (10)	299	滋賀県	8 (8)	173	佐賀県	4 (4)	164
千葉県	23 (23)	987	京都府	8 (7)	204	長崎県	12 (9)	316
東京都	44 (37)	890	大阪府	28 (27)	979	熊本県	12 (12)	340
神奈川県	27 (24)	679	兵庫県	19 (18)	325	大分県	7 (7)	137
			奈良県	8 (7)	182	宮崎県	17 (14)	540
			和歌山県	3 (3)	64	鹿児島県	17 (15)	237
						沖縄県	16 (15)	700

### CPMS登録医療従事者数

医師	管理薬剤師 (コーディネーター 兼任者含)	コーディネーター 業務担当者	保険薬局 管理薬剤師	合計 (人)
3228	4368	13391	1371	22358

は次表のとおりであるため、次年度、統合失調症ワーキンググループを設置して、治療抵抗性統合失調症治療薬の普及促進に向けた検討を進めることを決定した。

区分	統合失調症
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>治療抵抗性統合失調症治療薬を精神病床の入院で使用した病院数</li> <li>治療抵抗性統合失調症治療薬を外来で使用した病院数</li> </ul>
プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>治療抵抗性統合失調症治療薬を使用した入院患者数（精神病床）</li> <li>治療抵抗性統合失調症治療薬を使用した外来患者数</li> <li>統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治療薬の使用率</li> </ul>

## 2 依存症アンケート調査の実施概要

広島県依存症対策推進計画（仮称）の策定に向けて、広島県の依存症診療の実態把握のため依存症WGで検討した「依存症アンケート調査」は、県内の精神科医療機関を対象として、令和4年8月24日付けで調査への協力を依頼した。調査内容は、依存症の診療状況（外来・入院）、外来診療での対応・課題、治療プログラム等の実施状況、依存症の併存対応、自助グループ等とした。調査対象161機関（63病院、98診療所）のうち、106機関から回答があり、回収率は65.8%であった。

## 3 依存症診療の課題のまとめと今後の対応

第2回精神疾患専門委員会では、依存症WGが実施した「依存症アンケート調査」の実施結果について報告があり、依存症診療の課題と今後の対応等について、次のとおりとりまとめが行われた。

### (1) 依存症診療の現状（実態）

依存症アンケート調査によると、県内で依存症の診療を実施していると回答のあった医療機関は75機関（36病院、39診療所）であった。

このうち、アルコールに関しては、9割の医療機関（69/75機関）で外来診療が行われ、8割の病院（29/36病院）で入院診療が実施されていた。

また、ギャンブルに関しては、4割の医療機関（30/75機関）で外来診療が行われ、入院診療（年に1例以上）の実施は3機関であった。

### (2) 依存症診療の課題

外来診療における医療機関側の課題は、「治療プログラムがない」が54%（57/回答106機関）で最多であった。

依存症治療プログラムについては、SMARPP（もしくはHIMARPP）が11機関、CRAFTが7機関、SAT-G（もしくはSTEP-G）が7機関、SWITCHが3機関で実施されていた。

依存症のカウンセリングは29機関（7圏域）、家族教室は7機関（4圏域）で実施されていた。

### (3) 今後の対応

今回のアンケート調査の結果から、ギャンブル依存症の外来診療（治療プログラムや家族教室）の不足や地域偏在という課題が明らかになったことを踏まえ、今後の対応の方向性として次の4点が示された。

- ① 依存症の治療プログラムや家族教室の実施機関の周知
- ② 外来診療実施機関を増やすための取組
- ③ 人材育成・研修
- ④ 相談拠点との連携

## IV. ま と め

令和5年度に広島県が策定予定の依存症対策推進計画（仮称）については、本専門委員会における検討結果を踏まえ、今後の施策の具体化に向けて検討を進めることが重要である。また、第8次保健医療計画策定に向けては、多様な精神疾患ごとの医療機関の役割分担や拠点機能の強化等について、本委員会において協議していく。

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長	岡本 泰昌	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
委員	天野 純子	広島県医師会
	岡田 剛	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
	高畑 紳一	全国自治体病院協議会
	佐伯真由美	広島県立総合精神保健福祉センター
	高見 浩	広島県精神科病院協会
	西丸 幸治	広島県健康福祉局健康対策課
	町野 彰彦	国立精神医療施設長協議会
	松田 文雄	松田病院
	皆川 英明	広島市精神保健福祉センター
	村戸 秀年	広島市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉課
	森岡 壯充	広島県精神神経科診療所協会
	和田 健	日本総合病院精神医学会